

第44回東海・北陸地区公立学校教頭会研究大会石川大会参加報告

平成28年10月24日(月)25日(火)

研究主題「豊かな人間性と創造性を育む学校教育」

会 場 全体会:石川県立音楽堂

分科会:ホテル金沢・ANAクラウンプラザホテル金沢

一日目:受付 12:30~13:00

全体会 13:00~16:00

内 容:開会行事・記念講演・パイプオルガン演奏・次期開催県あいさつ

○開会行事

開催県の会長でもあり、全公教の副会長でもある大窪 浩之会長からあいさつがありました。たくましく社会を生き抜く力を身につけた子どもたちに育成するため、校長のリーダーシップのもと、教育動向を注視するとともに、教育の本質を見据えながら不易と喫緊の課題に対して教頭としてのあり方を追求する必要があることを力強く訴えられました。

ご来賓として石川県教育委員会教育参事 新屋 長二郎様、金沢市教育委員会教育長 野口 弘 様、石川県立小中学校長会会長 田村 敏和様からの挨拶がありました。お話の中から新幹線が開通し活気あふれる町となった金沢を感じました。また、来賓紹介の中で全公教からは花田 幹生全国副会長、研究部の代表として北村 協右会計(三重県教頭会)が紹介されました。

石川大会研究推進委員長 能村 秀昭 教頭先生よりスライドを利用しながら基調提案が行われました。明日行われる様々な課題が設定された6分科会の中で「教頭としてどのようにかかわっていけばよいのか」といった提案内容を興味深く聴いていました。

○記念講演

演題「人材育成と組織づくり～強くしなやかな経営から～」

講師 (株)箔一 代表取締役会長 浅野 邦子 氏



箔一創業から現在に至るまでの過程について、パワフルに話されました。現在も会社経営のほかに、経団連の活動や講演など非常に多忙な毎日を送って見えます。多くの感動した素晴らしいお話の中で特に印象に残ったことを紹介します。

- ☆ 夢を求めて行くことが大切である。何かをしたいと思えばどんなものもヒントになる。
- ☆ 「ものづくり」こそがわが社の誇れるもの 独自開発のものである
- ☆ 管理職として人と話すときは必ずメモをとる。記録または録音する。
- ☆ リーダーはカリスマ性を持つことが大切。部下から信じてもらえて初めてリーダーシップがとれる。
- ☆ 社員教育に大切なのは、一つの目的を持ち、それを細かく理解できるように説明して方向性を示すことが大切。

- ☆ 自分が母から受けた教育「幼少のころから答えをすぐに出さず、子ども自身に考えさせること」これがこのように成功できた原点だと思う。
- ☆ 失敗してもへこんでも明日は太陽が出る。その気持ちで強くしなやかに生きてほしい。
- ☆ 成功は失敗から生まれる。負けるからこそ勝った喜びがある。

教頭職は日々本当に大変ですが、この講演を聴いて一筋の明るい光をもらったように思いました。また、子どもに本当に身につけさせなければならないこととは一体何なのか強く感じた時間でもありました。

○ パイプオルガン演奏

曲名 「主よ、人の望みの喜びよ」・「愛するイエスよ、われらここに集いて」・「トッカータとフーガ ニ短調」

演奏者 黒瀬 恵

5143本のパイプオルガンを使って3曲演奏されました。

特に3曲目は素晴らしく、感動の連続で感無量でした。



○ 次期開催県あいさつ

三重県公立小中学校教頭会 会長 増地 陽一

本県を代表して会長が、「暗いイメージだった公害の町から生まれ変わって、世界に誇れる環境都市であり、夜景百選にも選ばれている四日市市でお待ちしています。」と力強くあいさつしました。

二日目 分科会 9:00～12:00

第1・2・3分科会 ホテル金沢

第4・5・6分科会 ANAクラウンプラザホテル金沢

三重県からの提言発表を紹介します。

第2分科会 研究課題「子どもの発達に関する課題」

提言主題:新しい学校づくり「小中連携から小中一貫教育へ」

～藤原中学校区の取り組みと教頭の役割～

提言者:いなべ市藤原小中学校教頭会 いなべ市立立田小学校

伊藤 雅英 教頭先生



いなべ市は3年前より、平成29年度完全実施に向けて、新しい学校づくり「小中一貫教育」のスタートを切った。5小学校の統合と施設一体型小中一貫校の新しい学校づくりをより確かなものとするため、藤原中学校区の研究が始められた。その中で、先進的な保幼小連携の取組や藤原小学校開校準備協議会(学校教育部会WG会議)の内容は非常に興味深いもの

であり、教頭としての適切な働きかけがいかに重要であるかを痛切に感じました。

伊藤先生の報告は適格であり、パワーポイントを利用しながらわかり易く提言されました。その後のグループ討議では、設定された話し合いの視点の元に活発な論議が交わされました。

今回の大会は金沢駅周辺で全て行われ、活気あふれる金沢の町を目の当たりにしたのもさることながら、石川県教頭会のおもてなしの心が身に沁み、心温まる2日間でした。

(辻 幸子)